

[目 次]

2000・8

ページ

SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	電波望遠鏡「なんてん」 —南天分子雲を開拓する	福井康雄	413
EUREKA 〈研究紹介〉	地球内部でのホイル=リットルトン降着体の運動 —ブラックホールシンドローム 2000—	福江 純	420
天球儀 〈読物〉	飛び出す月 Coming Moon 計画 —地平視差を用いた月の立体視観測	半田利弘 縣 秀彦 福島英雄	432
	研究室からセクシュアル・ハラスメントを なくすために	加藤万里子 池内 了	439
SPECTRA	岡本 功氏の論文 「宇宙ジェット—あるパラダイムの終焉—」に反論する	桜井 隆	447
ASTRO NEWS	古在共鳴—20世紀を代表する論文として	木下 宙	451
シリーズ	《海外研究室事情(8)》 Laboratory for High-Energy Astrophysics NASA /ゴダード宇宙飛行センター 高エネルギー宇宙物理研究室	小谷 太郎	454
ATACAMA 便り	LMSA プロトタイプ 10 m ミリ波サブミリ波 望遠鏡の建設	浮田 信治	456
声明文	国立大学及び大学共同利用機関の独立行政法人化 に関する天文天体物理若手の会の声明		458
雑報	日本天文学会 早川幸男基金による 渡航報告書		460
月報だより			463

[表紙説明]

「なんてん」は南米チリのラスカンパナス天文台に設けた名古屋大学の口径4メートルの電波望遠鏡である(図1:表紙右)。銀河系と大小マゼラン銀河の分子雲の分布の解明をめざして1996年に日本から移設し、すでに3年間にわたって観測を進めてきた。表紙に示したのは、現在進行中の銀河面分子ガスサーベイの観測結果の一部(ケンタウルス座方向)である(図6:表紙左)。この図は銀経 $296^{\circ}\sim 330^{\circ}$ 、銀緯 $-9^{\circ}\sim 9^{\circ}$ の範囲を示している。これらの観測によって、複数の超新星爆発によってつくられたスーパーシェルの候補天体が数多く発見されている。
(SKYLIGHT 参照)

(表紙デザイン:三宅洋子)